

令和4年度 事業計画

1 基本理念

利用者の立場に立った良質な福祉サービスを提供するとともに、地域住民との交流・連携を図り、開かれた法人運営に努めます。

2 中長期計画運営方針

- (1) 職員の知識・技能を高め、質の高いサービスを提供します。
- (2) 設備・機器を充実させ、快適なサービスを提供します。
- (3) 地域住民との交流・連携を図り、公益的な取組みを進めます。
- (4) 職員体制、人事・福利厚生制度を充実させ、働きやすい職場づくりを進めます。

【主な事業の進捗状況】

実施事項	進捗率	取組内容
【人材の確保と育成:本部】 (%)		
リクルーター制度の導入	100	就職展などにおいてリクルート活動を行うため、若手職員を活用したリクルーター制度を導入した。(2018)
外国人の受入れ	100	介護福祉士養成施設奨学金貸付制度要綱を設置し、養成施設に周知を要請した。(2018) ベトナム人留学生を1名採用した。(2018) 特定技能制度によりインドネシア人の介護士5名の受入れを決定した。(2019) 特定技能制度を利用したインドネシア人介護士を受入れ、とよた苑及び第2とよた苑にそれぞれ2名ずつ配置した。(2020) 介護福祉士養成施設等奨学金貸付制度を活用し外国人留学生2名を採用した。(2021)
職員紹介制度の導入	100	法人が募集する対象求人への紹介に対し謝礼金を支給する制度を導入した。(2019)
採用サイトの新設	100	新卒採用者及び中途採用者への効果的な情報提供を行うためのWebサイトを新設した。(2019)
職員採用動画の作成	100	採用活動の強化のため、職員採用動画を作成し、法人ホームページの採用サイトにアップした。(2020)
人事制度・給与制度の見直し	100	職員の能力開発や人材育成のため、人事評価システム及びキャリアパス制度を構築するとともに、キャリアパス制度と連動した給与制度に改正した。(2019)
オンライン型研修の導入	100	各OJT研修の統一化及び自己学習を支援するため、インターネットを活用したオンライン型研修の導入に向け情報収集を行った。(2020) 新人教育プログラム、研修指導マニュアル及び習得度チェックリストを作成した。(2021)

【福利厚生の実施】		
事業所内託児所の設置	100	パート職員の雇用と職員の子育て支援のため、春緑苑内に事業所内託児所を設置した。(2019)
最寄駅からの通勤用送迎サービスの導入	10	春緑苑・春日苑の職員を対象に通勤送迎バスの利用についてアンケートを実施し、送迎サービスの送迎と合わせて検討を進めることとした。(2019) 送迎サービスの送迎業務の委託について、運行管理サービス提供事業者と検討を進めたが、費用対効果を考慮し導入を断念した。(2020)
職員宿舍借上げ制度の導入	100	職員宿舍借上げ制度を新設し、介護福祉士 4 名、高卒新卒者(遠隔地採用)2 名を受入れるため、民間アパート(豊田地区 5 室、春日井地区 1 室)を借上げた。(2020) 大府地区にて新たに高卒新卒者(遠隔地採用)1 名を受け入れるため民間アパートを借上げた。(2021)
オンライン健康相談	100	職員のメンタル不調の予防及び相談に対応するため新たにインターネットを活用した 24 時間対応のチャット型医療相談の導入。(2021)
保育事業所との業務提携	10	新たに豊田地区エリアの企業主導型保育園と共同利用企業として提携契約の検討を開始した。(2021～)
【ICT 化の推進:本部】		
Wi-Fi 環境の整備	100	全高齢福祉サービス事業所に整備した。(2018) 全障がい福祉サービス事業所に整備した。(2019)
タブレット端末対応の介護ソフトの導入	100	全介護保険事業所及びケアハウスに導入した。(2018) 全障害福祉サービス事業所に導入した。(2019)
見守り支援ロボットの導入	100	全ての高齢者入所施設に見守り支援ロボット「眠りスキャン」を導入した。(2018) スマートフォン対応型ナースコールを第 2 春緑苑(特養)、春緑苑(ケアハウス、ショートステイ)の 3 施設に導入した。(2018) スマートフォン対応型ナースコールを春緑苑(特養、グループホーム)、第 2 とよた苑の 3 施設に導入した。(2019) 見守り支援ロボット「眠りスキャン」を春日苑に導入した。(2021)
ネットワークセキュリティの強化	100	インターネット上に法人内拠点間を結ぶ専用のネットワーク(VPN)を構築し、通信の安定性やセキュリティを確保した。(2019)
【業務の効率化:本部】		
車両リース、車両管理の一括契約	100	法人所有の車両のメンテナンスを一括外部委託した。(2019)
給油管理の見直し	100	複数のスタンドが利用可能な給油カードを車両台数配布し、給油や洗車の利便性を向上させた。(2018)
インターネットバンキング等の活用	100	インターネットバンキングを活用し振込みを行うことで、事務の合理化に繋がった。(2018)
勤怠管理システムの導入	100	職員の勤怠管理や勤務表作成を支援するためのシステムを構築し、人事労務管理の効率化を図った。(2019)

【法人ロゴの製作及び公用車のラッピング：本部】		
法人ロゴの製作	100	法人ロゴを活用し、名刺、封筒を作成した。(2019)
新ロゴを取入れた公用車のラッピング	順次	公用車の車両更新時に合わせ、順次、法人ロゴを取入れたラッピングを進めることとした。(2019～)
【地域貢献活動の推進：大府】		
地域貢献事業への取り組み	50	大府の郷に大府市のふれあいサロン事業として地域住民の交流の場となる「長草横丁」を開所した。(2018)
【その他事業】		
春緑苑短期入所施設の大規模改修の実施	100	全室個室化及び浴室、食堂等施設の全面改修を行うとともに、単独型施設から特養併設型施設に変更した。(2020)
若草苑改築事業	75	豊田市と「豊田市養護老人ホーム若草苑建て替えに関する基本協定」を締結し、基本設計業務の業者選定を進めた。(2019) 実施設計を行い、工事請負業者選定のための入札手続きを進めた。(2020) 若草苑の改築に伴い、若草苑デイサービス事業を廃止することとした。(2020) 居住棟の改築に着工し、年度末出来形 40%を確保した。(2021)
さくら第 2 保育園の新設	100	春日井市白山地区新設保育園の公募に応じ保育園の新設を決定し、住民説明会の開催及び実施設計を行った。(2020) 保育園の建設工事を進め、令和 4 年 3 月 1 日に竣工式を行った。名称は「さくら第 2 保育園」とした。(2021)
とよた苑雨水排水工事の実施	100	施設全体の雨水排水対策を行った。(2018)
春日苑エレベーターの増設	—	設置場所について検討を進めた。(2019) 適当な設置場所が決定できず、当面、見送ることとした。(2020)
ドライブレコーダーの導入	100	運転者の交通安全意識を高めるとともに事故時の検証に役立てるため、利用者送迎用の車両にドライブレコーダーを導入した。(2019、2020)
第 2 とよた苑駐車場の整備	100	慢性的な駐車場不足を解消するため、近隣土地の購入手続きを進めた。(2020) 農地転用等の許認可を得て、整備を完了した。(2021)
非常用自家発電設備の整備	100	大規模災害発生時に電力供給が停止した場合に備え、最低限の電力を確保するため、自家発電設備の整備を順次進めた。春緑苑(特養、ケアハウス、グループホーム)、第 2 春緑苑、とよた苑(特養、ケアハウス)、第 2 とよた苑、保見の里、カンホーム豊田(2019) 春日苑(2021)
地下水利用受給設備の整備	100	大規模災害発生時に水道供給が停止した場合に備え、地下水膜ろ過システムによる地下水の受給設備の整備を順次進めた。第 2 春緑苑(2020) 第 2 とよた苑(2021)

【事業所共通】※施設固有の取組みは除く		
ICT 活用による業務の効率化	100	「眠りスキャン」を順次導入し、入所者の睡眠効率の改善や職員の精神的、身体的負担の軽減に繋げた。(2018～) 介護ソフト「ケアカルテ」の記録管理や計画書管理などの機能向上のため、ソフトのカスタマイズを行った。(2020)
ワークライフバランスの推進	80	年休の計画的取得や勤務時間の見直しによる残業の削減を進めた。(2019～)
事業継続計画(災害編)の策定	80	大規模災害発生時においても必要とされるサービスを提供するため、拠点ごとに事業継続計画(災害編)を策定した。(2019)
災害時対応マニュアル(通所編)の策定	80	大規模災害発生時におけるデイサービス事業の対応マニュアルを策定した。(2020)
事業継続計画(新型コロナウイルス感染症編)の策定	60	新型コロナウイルス感染症の感染者が発生した場合においても必要とされるサービスを提供するため、拠点ごとに事業継続計画(新型コロナウイルス感染症編)及びゾーニング計画を策定した。(2020)
【利用者サービスの向上】		
寝具の改善	100	寝具一式を全施設リース化し、高齢者施設の掛布団(夏・冬)を羽毛布団とした。(2019)
オムツの使用感の検証と契約の統一化	100	各施設が使用する利用者用オムツについて、主要メーカーの製品のモニタリングを行い、評価が高かった製品に統一し単価契約を行うことでコストダウンを図った。(2019)

3 令和4年度運営方針

(1) 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルスの感染の拡大に対応するため、マスクの着用、手洗い、うがい、三密の回避、換気といった基本的な感染予防対策を徹底するとともに、感染者や濃厚接触者の発生時にはPCR検査や抗原検査、消毒を速やかに実施するとともに、ゾーニング計画、事業継続計画に従い必要なサービスを提供していきます。

(2) 職員の確保

令和4年4月の新卒採用者は24名の予定で、「介護福祉士養成施設等奨学金貸付制度」、「職員宿舍借上げ制度」を活用し外国人留学生2名、遠隔地の高校生1名を採用しました。令和4年度は、国内外の新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら、在留資格「特定技能」制度を活用し外国人介護士の受入れ拡大を図っていきます。

また、時短パートなどの働き方に応じた育児支援のため、現在、春緑苑内に設置した託児所の運営のほか、新たに豊田地区において地域の保育事業者との提携などを検討していきます。

(3) 職員の資質向上及び健康管理の充実化

職員の資質向上を図るため、動画研修を活用した新人教育や自主研修の普及拡大を図ります。また、部下の育成・指導力やマネジメント能力を醸成するための管理者研修などの階層別研修を実施します。

さらに、職員のメンタル不調の予防や健康相談に対応するため、「ストレスチェック」に加え、新たにインターネットを活用した24時間対応のチャット型医療相談を実施します。

(4) 大規模災害に対する対応

大規模災害発生時においても一定のサービスを継続するため、令和元年度に策定した拠点ごとの事業継続計画の検証や見直しを随時行うとともに、定期的に研修・訓練を行っていきます。

(5) 養護老人ホーム若草苑の改築

養護老人ホーム若草苑については、令和3年4月に豊田市から既存建物及び備品の無償譲渡を受け、仮設ハウスの設置、既設居住棟の解体を行った後、本年8月末を目途に新設居住棟の建設工事を進めております。居住棟の完成後は、「特定施設入居者生活介護」の指定を受け、10月から従来の養護老人ホームの運営に併せて介護保険事業を行っていきます。なお、総合竣工は令和5年3月の予定です。

(6) さくら第2保育園の開園

春日井市白山地区において4月に開園する「さくら第2保育園」の運営に当たっては、多くの園児を受継ぐ「高座保育園」の園児受入れに万全を尽くすとともに周辺住民との良好な関係を築けるよう努めていきます。

(7) 新たな5か年計画の策定

後期高齢者人口が全国で約2,200万人となり、国民の4人に1人が75歳以上となる「2025年問題」を間近に控え、要介護者の増加への対応や介護人材の確保が喫緊の課題となっています。現行計画が2022年度までの計画期間となっていることから、2023年度から5年間で期間とする新たな5か年計画を策定します。策定に当たっては、職員の満足度を把握するための「ES（従業員満足度）調査」を実施し、5年前の調査結果との比較分析により新たな課題の抽出を行っていきます。